



# 森の息吹

No.174 12月号  
2020.11月29日発行  
編集代表：五賀利雄  
0133-26-3738

## 「協働の森」意見交換会・備品の整備と片付け

### 11月の活動報告

11月1日(日) 「協働の森」意見交流会 参加者 12名

西当別コミュニケーションセンターにて今年度の「協働の森」活動の反省会ならびに次年度以降の活動について活発な話し合いが行われました。以下が検討された内容です。

主な作業内容について

① 既存植栽地の下草刈りと不要侵入木の駆除

——次年度分のモニタリングサイトのニセアカシアの生い茂る地域はかなりの傾斜地であり、刈払い機での作業は安全面で問題があり難しいのではとの意見がありました

対応として枝打用チェーンソーもしくは手ノコギリでの作業が好ましいとの結論になりました

また、作業前に除伐対象木、すなわち、どの木を残しどの木を切るかの根拠を示すことが大切であろうとの意見も出ました。

これは山の現場での研修(間伐と枝打の技術取得)にもつながるかと思えます



②モニタリングの実施(必修事項) 上記を参照 除伐前と除伐後の比較を行う

その他の活動として

③炭焼き交流会の継続

——炭窯つくりと窯出し作業を交流会もかねて「協働の森」作業の一環としてとらえる

④研修(必修事項)のテーマと実施

——例えば・山の現場での研修 チェーンソー、刈払い機の実施研修など 例年通りでもよい



活動区域外での活動として

・苗ばたの手入れ ・以前の植栽地でのモニタリングの継続 ・山田山林での次期活動の可能性など  
最後に総会予定日と次年度の活動開始日の日程が通知されました

11月8日(日) 備品・機械の整備、チェックと片付け 参加者 11名

山田倉庫にて使用した機械及び備品のメンテナンスを行いました。

チェーンソー・刈払い機は分解掃除および油抜きをしました。不用品も始末し今年度の作業を完了。

終了後、桜田氏特製のきのこ汁を美味しく頂きました。



## リレーコラム

これからは小学生

葛西重幸

最近、楽しみに聴いている【子ども科学電話相談】という NHK のラジオ番組がある。子どもの疑問に、各専門分野の先生が納得のいくよう努めながら説明していく。専門家の血統書付きで信頼できる回答は、私にも新しい知識・考え方のことがある。これだけが楽しみではなく、「お人形はどうして喋らないの」「服をなぜ着なければならないの」などソントクのない質問に科学者はどう答えるのか。研究者的に熱心に説明しているうち質問の主旨を忘れていないのではないか？いや、それは今後の勉強のために新しい世界に導いているのではないかというような聴き方をしたり、また、子ども状況に神経を集中し、先生の熱意溢れるやり取りなどを感じることができる。

質問者の多くは4歳～小学生全域ぐらいである。

60年で暦が一巡する【還暦】というのがあるが、60歳から数え始めると、老人は今、小学生になる。この番組の対象とする年齢にピッタリ合う。

科学の進歩は加速度的に早くなっている。一回目の小学校の科学の教科書などは【古文書】に分類されているはずである？

もし【子ども(中学生)科学電話相談】のような番組ができてもついていけないので私の小学校卒業はない。

心身ともに自立し、健康的に生活できる期間の【健康寿命】。北海道の男子平均は(72歳)だそうだ。これを超える認知力をプレゼントされ、この番組を面白く、聴いていたいと願っている。

### 重要なお知らせ

ご承知のように北海道では新型コロナウイルスの陽性患者が増加しており不要不急の外出は控える事など今春と同じような状況です。

「シラカンバ」といたしましても活動の自粛を決定しました。

従いまして、**12月以降の活動は連絡あるまで中止とさせていただきます。**

今後は状況を見ながら活動の再開を検討いたしますので宜しくお願いします。

活動再開の折は会報、メール、電話などでお知らせいたします。



### 編集後記

12月に入り長い冬が訪れようとしています。

私が移住してきた10数年前に比べて積雪量は毎年減っています。

特にここ2年程は雪の少ない年が続いていますが今年はどうでしょうか。

さて、新型コロナウイルスの影響で生活様式がすっかり変容しています。

しかし、生活の仕方、価値観など見直せる「よい機会」だと思っています。

いずれにせよその場に合わせたマスクの着用、手洗い、人との距離など自分や周囲の人を守るため、自らの判断で行動することが大切であると思います。それでは、皆様、良いお年をお迎えください。

——来る年が良い年でありますように！！

